

Snorkel高所作業車

MB20J MB26J

月例検査要領書

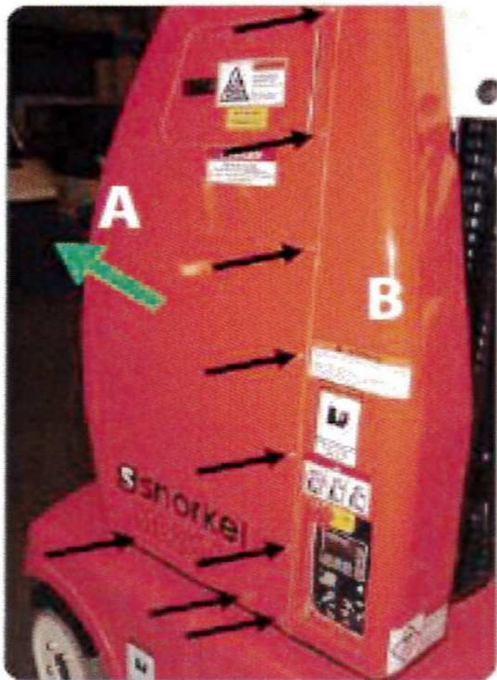


はじめに

- ・高所作業車を事前に満充電にしておく。また充電器で満充電を確認したうえで電源ケーブルを抜く事
- ・検査前に以下のものをあらかじめご用意ください
 - ・テスター
 - ・比重計
 - ・複数サイズのレンチセット（モンキレンチでも可）
 - ・グリス、CRC等の潤滑浸透剤
 - ・安全支柱としての使用に適した角材等
 - ・パーツクリーナー、ウエス
 - ・ウエイトまたはそれに類する重り
 - ・その他バッテリー液など必要に応じてご用意ください
- ・取説書/サービスマニュアルを確認しながら作業にあたってください

作業準備

ボディカバーの取り外し



- ① ボルトAを外します。
- ② 回転体Bを支えながら回転体AとBの間のボルトをすべて外します。
- ③ 回転体Bを外します。
- ④ 回転体Aを前側へ持ち上げながら抜きます。(2名作業)



ボルトA

・取説書/サービスマニュアルを確認しながら作業にあたってください

作業準備

①車体・車軸



車体や前後のフック、溶接個所に亀裂や割れが無いか確認。

車体および走行装置

②タイヤ



後輪



前輪

前後のタイヤに亀裂や摩耗、
取付ボルトおよびナットに緩みがないか確認。

車体および走行装置

③油圧モーター

ホースの取付配管や
モーター本体から漏れ
等がないか



前輪内側に取り付け

油の漏れやボルトおよびナットの緩み、汚れや錆がないか。

車体および走行装置

④走行装置



リンク曲がりや破損、ピン摩耗等がないか。

車体および走行装置

⑤かじ取り装置



ステアリングシリンダ
(前輪からシャーシフ
レームに入るところか
ら見えます)

シリンダの油漏れ、ピン摩耗、給油。

車体および走行装置

⑥ブレーキ解除



ハンドポンプ

・ブレーキ解除が正しくできるか取説に従って操作確認



ブレーキを解除する際は平坦な傾斜の無い場所で行う事。

タイヤに歯止めをかける等、逸走防止措置を講じる事。



作動、バルブおよびハンドポンプの状態確認。

車体および走行装置

⑦ジブブーム



ジブブーム

変形、溶接破損、ピン摩耗、注油。

昇降装置

snorkel

⑧マスト



マスト



変形、溶接破損、ピン摩耗、
ボルトおよびナット緩み、ローラー摩耗。

・リミットスイッチに損傷がないか。

昇降装置

 snorkel

⑨シリンダ



ジブブームシリンダ

マストシリンダ
※ シャーシカバー内

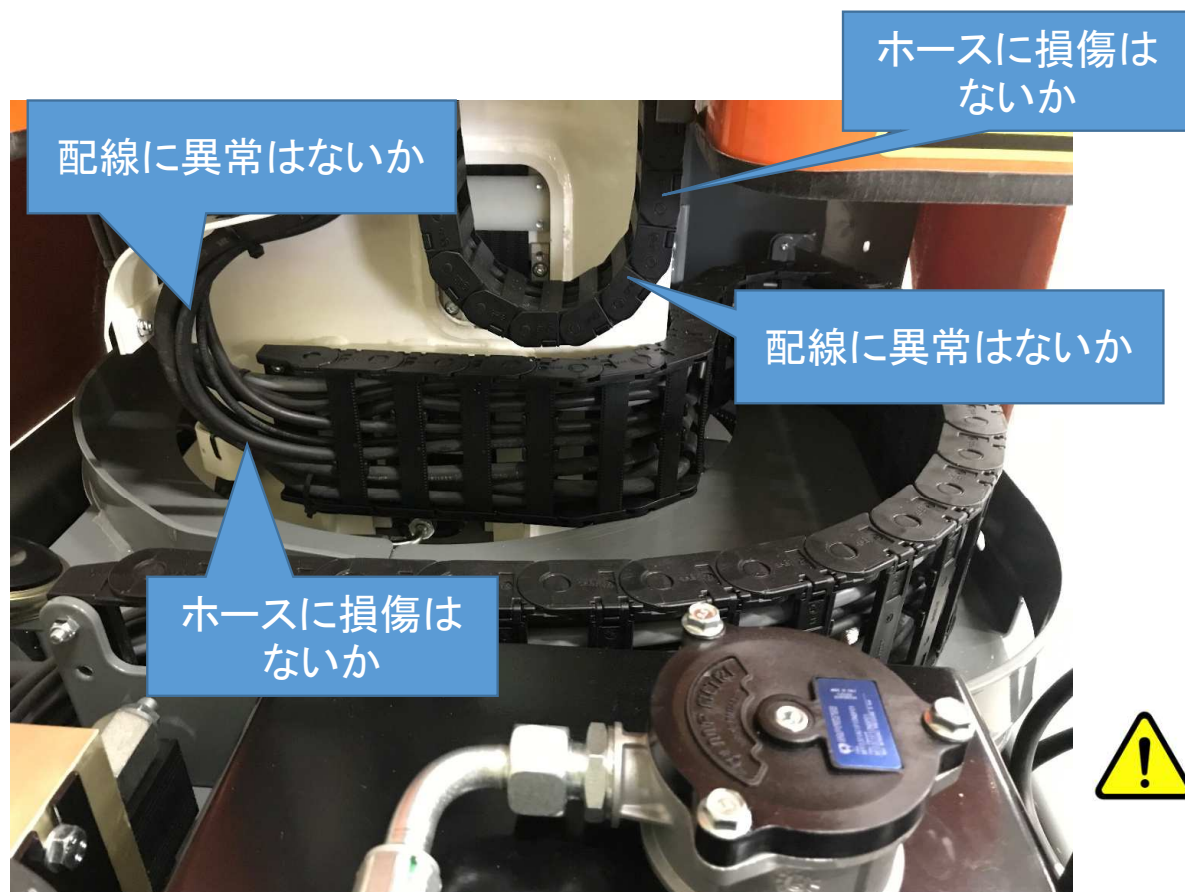
・シリンダの取り付け状態の確認。

・シリンダからの油漏れはないか。



作業床を上昇させて点検を行う場合、万が一に備え安全支柱等を使用し挟まれ事故を防止する事

⑩配線、配管



- ・配線、配管、ホースに油漏れ、損傷等異常はないか。
※シャーシ内回転体およびマスト部も確認。
※エナジーチェーン(ホースを納めてあるジャバラ)に異常がないかも確認。



作業床を上昇させて点検を行う場合、万一に備え安全支柱を使用し挟まれ事故を防止する事。

昇降装置

⑪フレーム、⑫手摺、⑬出入口、⑭ステップ、⑮作業床

出入口の棧に異常はないか

ステップ(変形、取付確認)

この4本のボルトナットは締めない
(緩いままでいい)

・作業床フレームに変形、溶接破損はないか。

昇降装置は適切に取り付けられているか。ガタ等ないか。



作業床

 snorkel

①6 バッテリー



- ・バッテリー液量は適切か。
- ・バッテリー比重は適切か。
- ・端子緩み、腐食、変形はないか。

※合計4個とも確認する事。



バッテリーに入っているバッテリー液には
希硫酸が含まれるため、
身体に触れた場合はすぐに洗い流すこと。

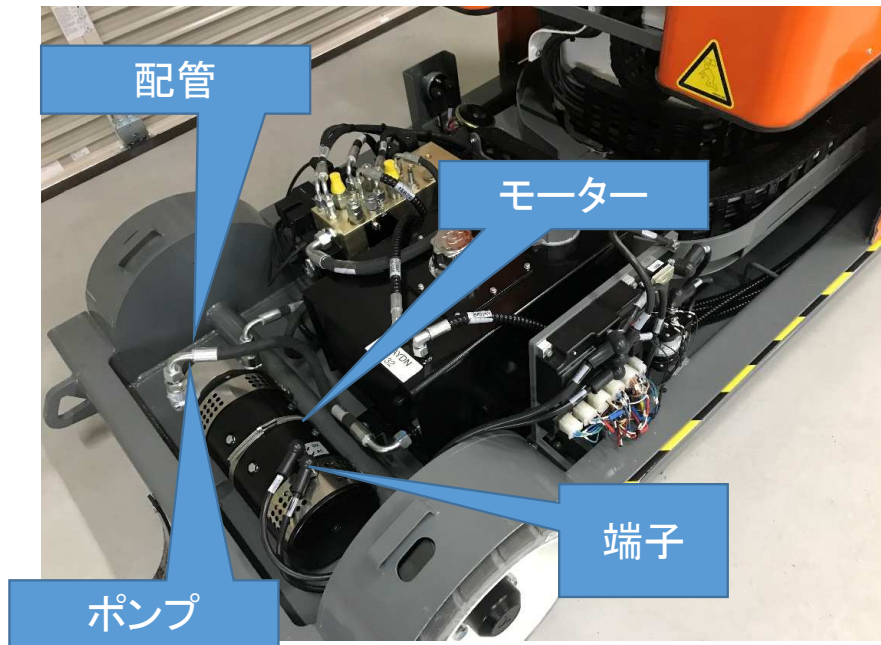


比重は満充電で1.27～1.28を目安とする



- ・シールドバッテリーは液量、比重のチェックは除く

⑪直流モーター ⑫油圧ポンプ



- ・モーターの汚れ、ブラシ摩耗、端子緩みはないか。
- ・ポンプの配管緩み、油漏れはないか。
- ・モーターとポンプのつなぎ目、ポンプとタンクのつなぎ目から漏れはないか。

シャーシ内にある。

①9 作動油



タンク



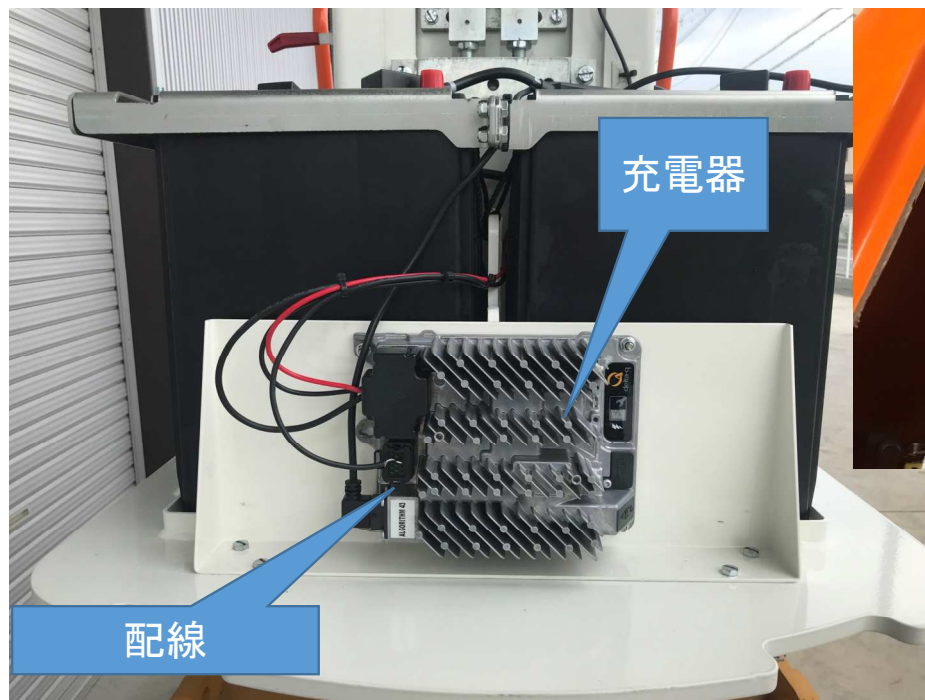
油やフィルタは黒く汚れていたら交換

メンテナンスハッチ内にある。

- ・作動油の量は適切か。
- ・汚れ、漏れはないか。
- ・フィルタ汚れはないか。(年に一度交換推奨)

動力装置

②0 充電器



旋回体前方、ボディ内にあり。

配線等に異常はないか。
充電器の動作に問題はないか。

※この充電器の場合はカバーを外さなくても見えます。

動力装置

②1作業床操作盤

- ・盤/機器の汚れ、破損の確認。

- ・配線の取付、断線等ないか確認。

※コネクタは操作盤底面にあります



内部配線図

操作・制御装置

②②車体側操作盤



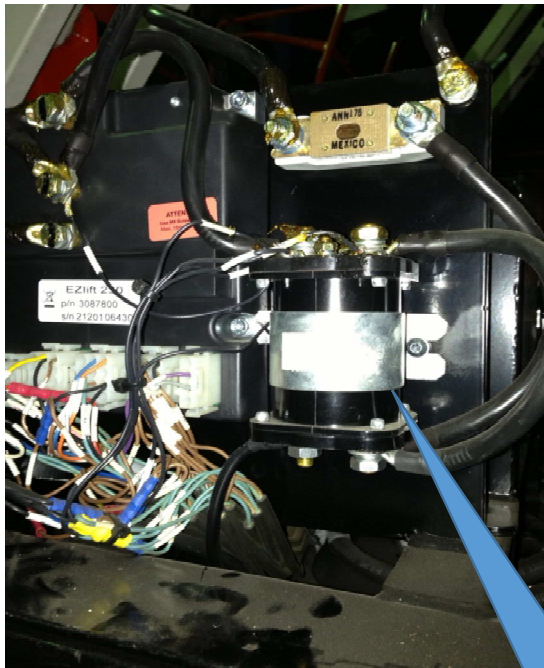
・盤/機器の汚れ、破損の確認。

配線とコネクタは裏側にあります

・配線の取付、緩みや断線等ないか確認。

操作・制御装置

②③リレー

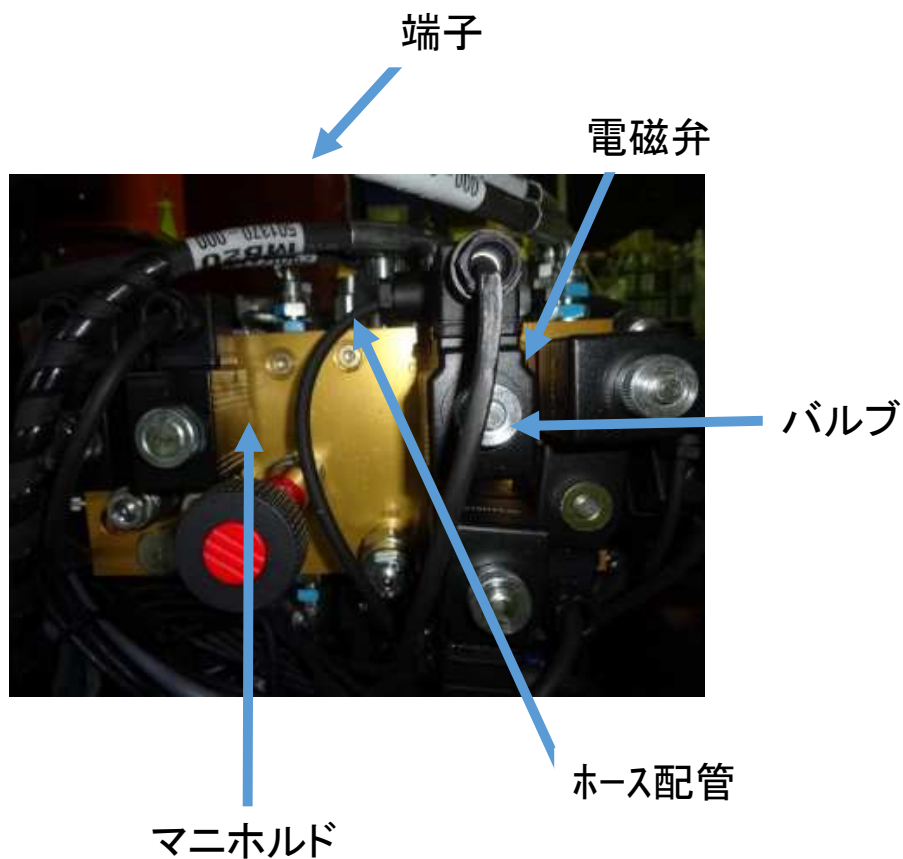


※シャーシ内右側面にあり。

- ・変形、端子緩み、断線等ないか。

リレー

②④油圧マニホルド ②⑤電磁弁



- ・汚れ、油漏れ、端子緩みが無い。
- ・各バルブのマニホルドへの取付け部、漏れ損傷等確認。
- ・油圧ホース配管のマニホルドへの取付け部、漏れ損傷等確認。
- ・電磁弁の端子抜け/緩みの確認。

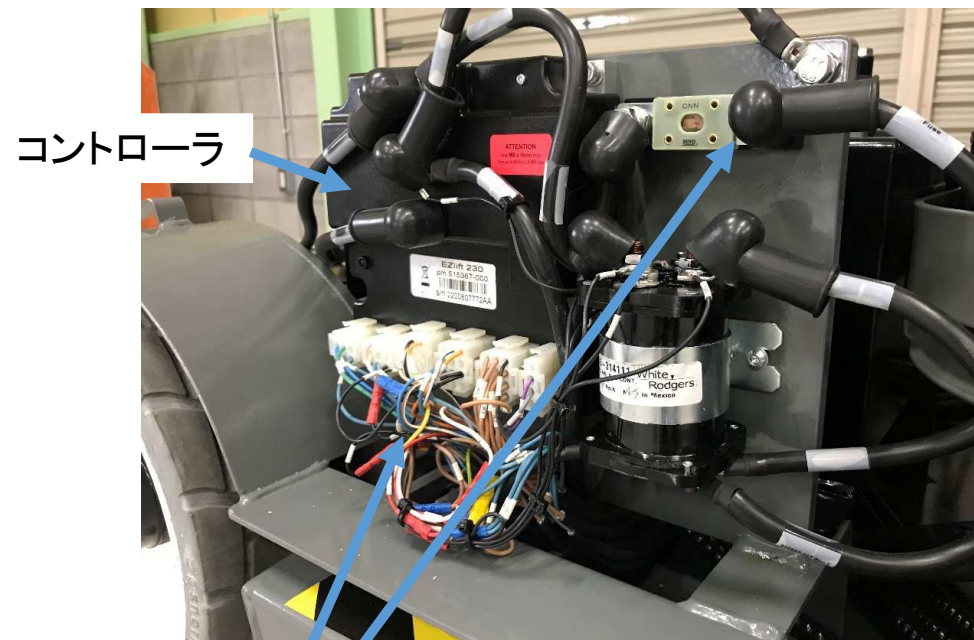
②⑥配線配管 ②⑦各種センサ

- ・各部油圧ホース/配管の損傷、油漏れ等はないか。
- ・各部センサ端子に異常はないか。



ホース

ホース配管



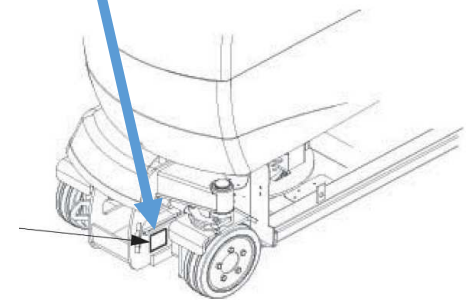
コントローラ

配線

②8 銘板



銘板



- ・ 銘板に汚れは無いか、内容は判読できるか。

※年式により取付位置が異なることがあります。

操作・制御装置

②9傾斜角規制装置 ③0過積載規制装置

傾斜角規制装置

- ・傾斜地やジャッキを使って車体を傾斜させ、
警報が鳴り機体が上昇しない事を確認します。

過積載規制装置

- ・作業床に定格+5%の積載荷重を掛けた状態で
警報が鳴り上昇しない事を確認します。

安全装置作動確認

③①安全弁 ③②走行警報装置

安全弁

※過積載をセンサで検出しないタイプの場合

- ・作業床に最大積載+10%程度の荷重を載せます。
- ・モーターは動作するが、圧力がかからず作業床が上昇しない事を確認します。

走行警報装置

- ・走行時アラームが設定されている機体では、走行操作時に正しく鳴動するか。またホーンが正しく鳴動するか。
- ・走行時アラームが設定されていない機体では、ホーンが正しく鳴動するか。

安全装置作動確認

③③ 非常停止装置 ③④ 緊急降下装置



緊急停止ボタン



- ・ボタンを押して動作がしなくなるか。
- ・ボタンを引き出して動作できる状態になるか。



マスト用緊急降下
※旋回体右ハッチ内



身体を車体で挟まないように注意



ジブブーム用緊急降下
※ブームシリンダ下側



絶対に側面から操作しない

- ・緊急降下装置を操作し、降下ができるか確認。

安全装置作動確認

③5 走行速度規制装置

- ・作業床を上昇させる。
- ・リフトから走行に切り替える。
- ・走行操作を行い、低速にしかならなら事を確認する。



安全装置作動確認

③⑥作業床自然降下

自然降下

- ・下部操作装置にてリフトを上昇させる。
- ・マストにテープ等でマーキングをし、
降下した場合に確認できるようにしておく。
- ・1～2時間程度時間をおいて
降下が無いか確認する。



安全装置作動確認

③⑦上昇 ③⑧降下 ③⑨クッション降下



・上昇：上昇操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。

・降下：降下操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。

・クッション降下：一番下まで降り切る際に問題はないか。

動作確認

④⑩高速走行 ④⑪低速走行 ④⑫ブレーキ作動 ④⑬制動



- ・高速走行: 作業床格納状態で高速走行となるか。
- ・低速走行: 作業床上昇状態で低速走行となるか。
- ・ブレーキ作動①: 走行操作入力でブレーキが解除されるか。(引きずる感じはないか)
- ・ブレーキ作動②: 走行操作解除でブレーキは自動的にかかるか。
- ・制動: ブレーキが動作してから車体はすぐに止まるか。

動作確認

④④ 操向



・走行時にステアリング操作ができるか。

・停止時にステアリング操作ができるか。

動作確認

ご不明な点は下記へご連絡ください

エイハン・ジャパン(株)本社
東京都港区芝浦3-15-2山本ビル3F
Tel: 03-5765-6841
Fax: 03-5765-6840

エイハン・ジャパン(株)関西支店
大阪府摂津市鳥飼新町1-14-3
Tel: 072-650-1950
Fax: 072-650-1951

